

事業所名

放課後デイ アネーラ

支援プログラム (第1・第2単位)

作成日

令和8 年

3 月

17 日

法人 (事業所) 理念		子ども一人ひとりを尊重し、将来の可能性を広げる支援を行う。							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> それぞれの抱えている課題や特性に寄り添った、生活能力の向上に必要な個別・小集団での支援の実施。 ご家族への相談援助や関係機関との連携を実施し、常に児童及びご家族の立場に立ってサービスの提供を行う。 体育活動・創作活動への取り組みをプログラムに積極的に取り入れることによって、一人ひとりにあった感性を育む。 子どもたちが進んで取り組みたいと思えるような感覚統合療法を取り入れ、楽しみを見つけながら支援を行う。 							
営業時間		平日 土・祝など	10 9 時	30 00 分から	18 17 時	30 00 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活動作及び手段の日常生活動作の獲得 定期的な心身の把握 (毎日の観察・面談、個別活動) 危機認知スキルの向上 (疑似体験・映像・SST) 				<ul style="list-style-type: none"> 健康的な生活リズムを身に着けるサポート (維持・改善)、食事、排泄 身だしなみの整え方 食育 (菜園体験・昼食、おやつ作り) 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚の特性への対応 (特性に応じた感覚の導入、触覚・固有覚・前庭覚を特に意識した運動や制作)、散歩、いろんな道具の使い方等 姿勢や運動、基本的、応用的動作能力の向上 (専門職員による集団・個別療育) トランポリン、ビジョントレーニング、コーディネーショントレーニング等 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 小集団での活動や遊びのなかで、適切な行動を習得する (認知の偏りに配慮する) 空間、時間、数の概念など認知発達を促す環境設定 (スケジュールや時間の視覚化) 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶や場面に合った言葉使い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 読み・書きに対する学習支援 コミュニケーション手段の活用 (SST・発表する機会の提供・ロールプレイ) 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 小集団・集団での遊びやゲームを通して人との関わり方や接し方を学ぶ 社会体験や地域交流の場を設ける 自己理解、他者理解への支援 (SST・社会体験・個別療育) 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 家族へ定期的に報告・連絡・相談をおこない連携を取っていく。 本人が自分で考えたり選択できるように具体的な選択肢を提示。 家族のレスパイト等により延長加算を算定。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 切れ目のない支援を継続できるよう移行先に発達やこれまでの支援経過、支援方法等に関する情報共有し、地域の教育の後方支援を行う。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携 学校や併用利用先との情報共有 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 外部研修の受講や事業所内研修を実施し、職員の専門的な知識やスキル、支援の質の向上を図る。 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 季節の行事 (お花見・夏祭り・ハロウィン・クリスマス等) 課外プログラム ・調理体験 ・外食体験 買い物体験 ・避難訓練の実施 							